

ふるさとほらど通信

第18号 平成25年10月1日

ほらどまちづくり委員会

洞戸中学校体育祭

9月15日



全校生徒54名が
＜百花繚乱＞スローガンのもと
一生懸命のパフォーマンス！
学校・クラスの団結パワーを
魅せてくれました

敬老会

9月16日



皆で話して、笑って、唄って楽しかった敬老会！これからも元気な毎日を

ピアノで歌おう 演奏会

福祉活動事業

ほらどまちづくり委員会・関市老連洞戸支部 共催

7月9日 生涯学習センター集会室

“Soave 音楽教室”（菅谷）の灘さんによる素晴らしい歌声や演奏を聴いた後、私たちも大きな声で「青い山脈」「月の砂漠」など懐かしい曲を歌い、大盛況に終わりました。



美濃乃國高賀山太鼓 創立30周年

学習活動事業

7月25日 生涯学習センター集会室

創立30周年を迎えたその歴史が丁寧に紹介されました。3メートル程の長さの掲示用楽譜の紹介や多くのイベントに参加された様子も聴かせてもらいました。「英哲太鼓」「締太鼓」などの種類や、実際に打ち鳴らしながらの練習の様子も紹介されました。多くの方々の30年間に亘る直向きな努力やその歴史の重さに感動しました。



洞戸夏祭り

交流活動事業

8月15日

洞戸生涯学習センター南側駐車場にて開催



会場では沢山のコーナーが開設。ザリガニ釣りをはじめ金魚すくいや輪投げゲームなど沢山の子ども達が集まり、みたらし団子や焼きそば店の前にも長蛇の列でした。館内の「子ども広場」では江戸の昔の工作も紹介され、巧みな作品に驚嘆の声が出ていました。「本を楽しむ会」「浴衣の着付け」なども行われました。

夕方になり、沢山の提灯に灯が入り「郡上さわぎ会」の生の盆踊り音頭が流れると多くの老若男女が集まり、櫓の周りに沢山の出会いが生まれた、素晴らしい夏祭りでした。

医学生と語ろう

学習活動事業

8月27日 洞戸生涯学習センター集会室

3日間、洞戸診療所へ研修に来られた医学生お二人と、安福先生にも同席して頂き意見交流会が行われました。医学生の意気込みや感想をはじめに、30余年もの長い間お世話になっている安福先生への感謝の言葉、そして先生からも「互いに支え合うことの大切さ」「医療における信頼関係の重要性」のお話などを伺うことが出来ました。洞戸のような中山間地域の医療活動について、本格的な深い交流がなされました。



皆で話して、笑って、唄って

楽しかった、敬老会でしたね！

これから
元気の毎日を！！

9月16日 洞戸地区の敬老会を行いました。

ご来賓として、中村副市長・地元選出の武藤市議会議員・社協・民生委員をはじめ各位にご出席いただき、盛大に催されました。

今年は75歳以上の方が432名の内180名余の方の参加があり、皆さん話したり・笑ったり・唄ったりして、また保育園児や各アトラクションを見られたりして、楽しいひとときを過ごしていただきました。

洞戸の中での最高齢者は、女性 武藤津ぎ子さん 100歳、男性 神山勲さん 97歳で喜寿（77歳）23名・傘寿（80歳）25名・米寿（88歳）23名の皆さんには、市と自治会よりお祝い品が渡されました。

永年に亘り社会のため、地域のために頑張ってくれた皆さんです。本当にありがとうございました。これからは、自分の体力にあわせて仕事に運動に社会参加をされる等、頑張ってください。



安全・安心な地域づくりのために

防犯パトロール車で巡回

関市自治会連合会 防犯防災会では、犯罪の未然防止を図り「明るく住みよい 安全安心な地域づくり」を目指すため、青色回転灯防犯パトロール車で防犯意識の向上と防犯対策の普及・啓発に努めております。

洞戸・板取地区では、合同により7月21日と8月3日の両日パトロール活動を行い、犯罪の未然防止・防犯対策・防犯意識の向上・振り込め詐欺防止・河川での水難事故防止・子ども達の夜間外出における注意など呼びかけを行いました。

「事故のない 犯罪のない 安全安心な洞戸」であって欲しいものです。皆さんのご理解・ご協力をお願いします。



地域のことは
自分たちで守ろう！

自治会での防災訓練活動紹介

— 高見自治会 —

高見自治会は合併以来9年間、年2回の防災訓練活動を行ってまいります。

毎年8月には、ポンプの取り扱い訓練・防火水槽の掃除・応急手当等 また冬季には大雪に備えて除雪機の取り扱い講習、独居・寝たきり老人の確認等、救急災害時に備え地域ぐるみで訓練を行っています。

今年は8月4日に実施されましたが、26戸で50名の参加者がありました。近年地域内には消防団員も少なくなり、昼間は勤務等により若い人も不在となり、何か起きても消防力・防災力の低下することは当然であります。このような状況では早急な対応も出来ないことから、地域住民皆で助け合い災害に備えて訓練を行っておくべきであるとの事から始められたそうですが、特に女性、子ども、元気な高齢者が参加してみえます。

「いざ」と言う時には、このような訓練と心がまえが大切です。今後とも地域のためにも頑張ってください。



第1回見守りボランティア代表者会議

6月21日 洞戸老人福祉センターで各地区のボランティア代表の方に集まいただき、見守りボランティアの現状や進捗状況について話し合いの場を持ちました。武藤支部長から「現在104名のボランティア登録をいただいているが、ボランティアのベスト・帽子を着用して歩いている人が少ない。見守りボランティアの基本理念は『出来る時に・出来る場所で・出来る事を』となっているので、イヌの散歩や買い物等外出時には出来るだけベストや帽子を着用して欲しい。こうした事が地域の安全・安心につながるものである。また、犯罪を企む人間に対して抑止力となるので皆さんの認識も新たにしたい」との挨拶があった。



各地域の現状

小学校の登下校には限られた人ではあるが見守りを行っている。「阿部・小瀬見地区は子供がいない」「高賀地区は子供1名(バス送迎)」「尾倉地区は地区の状況から独居老人の見守りに力を入れてゆく」等々地域によって相当状況は違っているが、見守りを通じて皆が感じていることは「子供同士の挨拶は全く出来てなく、大人が『おはよう』といっても明るく元気な挨拶は返ってこない。中学生になると何とか挨拶が出来るようになるが、部活で先輩・後輩等の関係があるので割合挨拶ができるようになるのではないか」との事。挨拶は人間として社会で生きて行くうえで最も大切な行動の1つだと思います。家庭の躰・周囲の大人の躰を今一度考えるべきではないでしょうか。また、登録されている方の中からは「ボランティアのベスト・帽子が派手なので着るのが恥ずかしい」との声があるようですが、あえて目立つような色彩にしてあり、慣れていただければ着心地の良いものなので、ボランティアの皆さんは外出時にはぜひ着用してください。

続いて、ボランティア登録が100名を超えたので組織化する必要があると判断したため、地域の代表者の中から会長・副会長を選任し、地域の積極的活動の取り組みを統括していただくこととなりました。各地域の会長・副会長を中心に地域に合った活動をお願いします。

○ 会長及び5分団の副会長を紹介します ○

会 長	(洞戸全体)	徳野 修様
副会長	第1分団(市 場)	太田喜和様
副会長	第2分団(通元寺・栗原・飛瀬)	野村勝男様
副会長	第3分団(下洞戸)	船戸英司様
副会長	第4分団(奥洞戸)	梶田博之様
副会長	第5分団(菅 谷)	林 滋盛様

第1回見守りボランティア研修会

“出来る時に 出来る場所で 出来る事を” 行動に移しましょう

7月26日 洞戸老人福祉センターで見守りボランティアの研修会を開催しました。武藤支部長のあいさつの中でボランティアの皆さんへのお礼と小地域住民福祉活動の現状の説明がありました。講師による研修会に入り『ボランティアのすすめ』と題しまして関市ボランティア・市民運動連絡協議会・会長の玉井洋禧さんから「ボランティアとは奉仕者・志願者として自発的・自主的に社会事業などに参加する人を行い、無償が原則である」との基本的理念の講演を頂きました。また、ボランティア活動は一人ですより2～3人でした方が長続きするし、やりやすい・・・等々現実的なお話を聞くことが出来ました。又、玉井会長さんは現在自分が行っている傾聴ボランティアについて話されました。約50名が研修会に参加していましたが“傾聴ボランティアを知っている人”はたったの1人でした。人の話を聞いてあげることの大切さや、人間は1人では生きていけないことを痛感した次第です。

玉井会長が自分の信条として決めておられることは「生涯学習・生涯青春・生涯現役」であるとされました。この言葉にも感銘を受けました。



ボランティアの8か条

- ・出来る時に出来る場所で出来る事をやる
- ・きちんと挨拶をする
- ・引き受けたら責任を果たそう
- ・安全に注意する
- ・相手の立場に立って考え行動する
- ・無理をしないで続けよう
- ・約束ごと秘密(守秘義務)を守る
- ・家族や周囲の理解を得て行う

“目の前に倒れた人が・・・さあどうします？”



6月28日 洞戸老人福祉センターで社協・民生合同の研修会を行いました。中濃消防組合洞戸出張所の救急救命士・前田貴也さんに講師をお願いし救急法について教授いただきました。講習後各地区に分かれ分科会に入り地域課題・現状の分析を話し合い情報の共有化をはかりました。

(前田さんからのお礼文を掲載)



中濃消防組合美濃消防署洞戸出張所
救急救命士 前田 貴也

洞戸地域の皆様、中濃消防組合美濃消防署洞戸出張所 救急救命士の前田貴也と申します。

日々の消防業務にご尽力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、平成 25 年 6 月 28 日洞戸老人福祉センターで関市社会福祉協議会洞戸支部主催による救急法講習（心肺蘇生法）が実施され、私はその講習会に講師として出席しました。

心肺蘇生法は A E D（自動体外式除細動器）を含めた一連の流れで構成されていますが、その中で重要ポイントはズバリ胸骨圧迫（以前の心臓マッサージ）の「強く、速く、絶え間なく」です。

今回の受講者は高齢の方々が多く、疲労を伴う胸骨圧迫は大変でしたが皆さん熱心で、蒸し暑い中汗を流しながら、確実な方法を習得するため何度も実施する姿に大変感激するとともに、もしもの時は参加された皆さんが活躍していただけると確信しました。

「目の前で人が倒れていたら、その人を救えるのはあなたです！」

勇気をもって心肺蘇生法を実施しましょう。また、講習の機会があれば積極的に参加しましょう。

今回はこのような機会を与えていただき、誠にありがとうございました。

心肺蘇生法を聴いた受講者の声

- 1 分間に 100 回も胸骨圧迫をする。5 cm 以上も圧迫することって高齢者ではとても出来ないわ。まず近所の人に呼びかけ、皆で協力することが肝心なことが判った。
- そんなに強く押すと骨が折れてしまうと思ったが、骨が折れるより命が大切なことを再確認しました。
- 心臓は一般的に左にあると思っていたが、左右にあることをこの年になって初めて知った。



10
月



月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14 体育の日	15	16	17	18	19 ピースベル フェス	20
21	22	23	24	25	26	27 防災訓練
28	29	30	31			

月	火	水	木	金	土	日
				1	2 文化の日	3
4 振替休日	5	6	7	8	9 関にし秋の祭典	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23 勤労感謝の日	24 キウイ マラソン大会
25	26	27	28	29	30	

11
月



洞戸カレンダー
是非お使いください！

<洞戸生涯学習センターからのお知らせ>

洞戸生涯学習センターの休館日は月曜日です。

洞戸生涯学習センター（図書館含む）は土曜・日曜・祭日は開館しています。

なお、月曜が祭日の場合は、翌日の火曜が休館日となりますのでお間違いのないようお越しください。

開館時間／AM 9：00～PM 5：00



ほらど地域バスは月曜～金曜まで定期的に路線を運行中。

デマンドバスは洞戸地域内を当日の電話一本で自宅前～目的地まで送迎いたします。

（デマンドバスは休館日・土曜・日曜・祭日は事前に予約をされた方のみ運行可能）

デマンドバス予約電話 **58-2115**（洞戸生涯学習センター）

<ほらどまちづくり委員会>

洞戸生涯学習センターを指定管理しながら、洞戸地域全体のまちづくりを担う諸団体、個人が結束連携し、地域に必要な事業の展開を図ることで、まちづくりを効果的に推進し、もって地域社会の発展に寄与することを目的としている団体です。



月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 天皇誕生日	24	25 クリスマス	26	27	28	29
30	31	平成 26 年 1/1 元旦	2	3	4	5

独り暮らし・高齢者の方の七夕交流会



7月10日 洞戸老人福祉センターで75歳以上の独り暮らしの方と80歳以上の方による七夕交流会を開催いたしましたところ大勢の皆さんに集まっていただき、大変楽しいひと時を過ごさせていただきました。参加者には受付で短冊をお渡し、それぞれの願い事を書いて竹に飾りつけました。願い事には家族の健康を願うことや、幸せに感謝・・・を詠んだ名句が多く寄せられましたが、中には「一生ゴルフが出来ますように」との大変健康的な一句に感激しました。

保健師の武藤緑さんの「夏場の健康法と手軽に出来る筋トレ」についての講演をお聞きし、特に夏に向かうので熱中症に関する対応策・筋トレは日常生活の中で、その気になれば一寸の時間でいくらかでも出来る事を感じました。昼には食生活改良協議会の皆さんに作っていただいたお弁当を大変美味しく頂きました。午後からはアトラクションとして、野村福子さんに紙芝居「天人の嫁様」を見せてもらいました。続いて長谷川正和さんによる津軽三味線の演奏、その後、童謡・唱歌を皆で歌いました。最後に、笹の葉さらさら「七夕様」を皆で歌いフィナーレいたしました。食改協の皆さん・関係各団体の皆さんご協力ありがとうございました。

卒寿超えなお健康な手足かな

天の川 高賀の山にかかる白雲

過ぎ去りし七夕飾りのなつかしさ

ひこ星のそばに行きたしはねつけて
夫の傍が良いのかな？

やっとかめ まめで会える嬉しさに 青春時代を語り合う

地震が起きたら、まず自分が生きる事を考えよう 講演

8月23日 洞戸老人福祉センターにおいて、来賓に武藤市議会議員・宇佐見洞戸事務所長・土田洞戸駐在所巡査部長をお迎えし「災害ボランティア研修会」を開催しました。

地震への備え・地震時・地震後の対応について

中濃消防組合洞戸出張所 長屋幹男所長から上記演題によるお話を聞かせて頂きました。昔は地震が起きたら「まず火を消せ」と教わりましたが、今は「まずドアを開け逃げ道を確保せよ」また、

①地震は何時どんな時に発生するか想定できないので、家族でそれぞれが自分の生き方を話し合っておくこと。
(基本は自分の身は自分で守れ)

②地震がおさましたら家族は何処に集まるのかを前もって話し合っておく。(家族の安否確認)

③どんな大災害でも3日経てば救援活動が始まる。(3日間生きる為に何が必要か)

④都市と田舎等生活環境で何が必要かは違ってくる

等、専門の見地から震災時の対応について講演していただきました。

非常食の試食

関市役所から非常食の提供を頂き、赤十字の皆さんに温めてもらい試食しました。皆さんお味は如何でしたか？

今回参加いただきました対象団体は社会福祉協議会理事・民生委員・福祉委員・防災指導員・赤十字・自治会長・自治会防犯防災部長・自治会女性部長・災害ボランティア・方面隊・洞戸事務所で、当日の参加者は総勢50名でした。



身近なものを利用したの応急処置について

「チーム繋」代表で防災士でも在られます澤井正實さんから上記演題について実演をまじえ応急処置のやり方を教えていただきました。

①スーパーのレジ袋を利用して・・・→三角巾・足首骨折時の足首固定

②長袖シャツを利用して・・・→靴下・マスク

③ロープを利用して・・・→背丈の4倍の長さのロープを2人の肩にかけ動けなくなった人を援護する・ロープの先を結んで溺れた人を救助する

等、いざと言う時知っておくと大変便利で有ることを教えていただきました。

絵手紙

見守り事業の一環として80歳以上の高齢者・一人暮らしの方々50名のお宅へ7月に絵手紙を送らせていただきました。「暑さ乗り切る どうぞお元気でお過ごし下さい」「うれしい夏の味・お体気をつけてね」等々の季節にふさわしい野菜の絵手紙いかがでしたか。高齢者の皆で見守っていますので安心した毎日を送ってください。絵手紙ボランティアの皆さん今後も宜しくお願いいたします。



第4回「ピースベルフェスティバル 2013 from ほらど」



沖縄のシンガーソングライター「ユキヒロ」がプロデュースする平和の音楽の祭典。
『平和の現代を生きることの幸せ』を音楽を通し、楽しみながら感謝しようという平和の祭典です。素晴らしい演奏・歌声で愛が一杯です。是非ご来場下さい。

- ◆日 時 10月19日(土) 午後3時～5時
- ◆場 所 関市立洞戸小学校 体育館
- ◆出演者 洞戸保育園・洞戸小学校・洞戸中学校・消防団洞戸ラッパ隊
美濃乃國高賀山太鼓・大正琴むぎっ子・Soave 音楽教室・Kyon 2
野村武宏・あさみまさよし・ユキヒロ
- ◆照会先 ピースベルフェスティバル実行委員会 (☎0581-58-2222)

第8回「関にし秋の祭典 in 洞戸」

- ◆日 時 11月9日(土)・10日(日)
午前9時30分～午後4時
- ◆場 所 洞戸生涯学習センター周辺
- ◆主な催し ▽ふれあいステージ(郷土芸能、文化団体発表、ステージショーなど)
▽にぎわい横丁(洞戸・板取・武芸川地域の特産品・農林産物や
飲食物の販売など)
▽文化交 流 展(文化協会各種団体、保育園、小・中学生の作品展示)
▽餅 ま き(10日午後4時～)
- ◆照 会 先 関にし秋の祭典実行委員会事務局 (☎0581-58-2111)



<2013 ほらどキウイマラソン大会>



- ◆日 時 11月24日(日)
- ◆場 所 洞戸生涯学習センター周辺
- ◆照 会 先 ほらどキウイマラソン実行委員会
(☎0581-58-2111)
- ◆オープニング AM7:45～
出演/洞戸小学校鼓笛隊・洞戸中学校合唱 他
- ◆開 会 式 AM8:30～
- ◆スタート 3kmの部 … 9:45 5kmの部 … 10:20
10kmの部 … 10:32



子育て

in 洞戸

子育て中の皆さん！！ 今年の夏は暑かった（>_<）！小さなお子さんをお育て中のパパママは本当に大変だったと思います。やっと秋の虫の声が聞こえるようになり、日中も過ごしやすくなりましたね。

秋は公園やお出掛けも楽しくなりそうな予感♪

今回は「子育て in 洞戸」。洞戸の中でこんな活動が行われていることをご紹介します。（*^v^*）



子育てサロン

洞戸保育園隣の洞戸教職員住宅の一室を開放し、子育て中の保護者が気軽に集い、話し合ったり子ども同士遊ばせる場を提供しています。

所在地	関市洞戸通元寺 78 番地 1 洞戸教職員住宅
利用できる人	未就園児とその保護者 夏休みは、小学生も一緒に交流できます。
利用料	無料
開館日時間	月・火・木曜日 午前 9 時～午後 3 時
休館日	水・金・土・日・祝日・年末年始
活動	夏期の天気の良い日は、プール遊びも行っています



放課後 ふれあいクラブ

● 活動の概要 ●

関市が進める「放課後子ども教室推進事業」。洞戸小学校放課後ふれあいクラブ実行員会が委託を受けて「放課後ふれあいクラブ」の活動を実施しています。この活動は、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する事を目的として、さまざまな文化活動、系スポーツ及び地域住民との交流活動等を行います。

英語で遊ぼう



活動場所	主に 洞戸生涯学習センター 洞戸小学校体育館
活動日	月に一度の土曜日午前中（長期休暇期間中は複数回有り）
利用できる人	洞戸小学校 1 年生～6 年生（新年度に登録申込）
活動費	無料（登録時に保険代が必要。各回の材料費は別途）

矢じりを作るう



スクラップブック



クラフト講座

関市 洞戸運動公園

大人も子どもも大好き！！

洞戸黒谷地区にある公園について改めてご紹介します。

平日は公園で小さなお子さんが遊んでいたり、大人の方がお弁当を食べていたりするのを見かけます。また週末になると家族連れで利用されています。

グラウンドでは、ゲートボール、サッカー、フットサル etc…週末にはクラブチームや学校で利用されたりして、車で通り過ぎる時には「何やってるんだろう。。。？」とついつい気になってしまいますよね？



Q and A

Q 1. この施設はいつ出来たのですか？

平成 9 年に陸上競技場が完成。平成 12 年には児童向けの遊具施設、平成 14 年にストリートバスケット・パターゴルフ場が増設され、現在の公園になりました。

Q 2. みんなは黒谷グラウンドや、黒谷公園と呼んでいますが・・・

正式名称は「関市洞戸運動公園」です。

Q 3. この施設のオススメはなんですか？

自然豊かな環境の中で運動や遊びが楽しめること。

Q 4. 公園内の土管とターザンロープはなぜ使えなくなったのですか？

平成 23 年まで公園内の小山にドラえもんを思い出さすような土管がありました。遊びに来られたお子様が怪我をされたことがきっかけで危険な遊具とみなされ撤去になりました。またターザンロープにつきましても、設置されてから 13 年が経過し、老朽化が激しいため現在は使用不可となり、25 年度中に撤去されます。

他にも撤去され遊具がありますが、老若男女が利用出来る健康器具の新設も予定されていますので楽しみにして下さい。



Q and A



Q 1. 施設内駐車場に時計がありますが、何の形をしているのでしょうか？

Q 2. 施設内駐車場には〇〇ポートがあります。さて、なんでしょう？

Q 3. 施設内公園にナツメや〇〇ベリーの木があります。さて、何の木でしょう？

Q 4. Q 3 の木の実実は勝手に食べても良い？それともダメ？

Q 5. 施設内にペットを同伴しても良い？それともダメ？



- Q 1) キウイフルーツ
- Q 2) ヘリポート
- Q 3) ブルーベリー
- Q 4) 良いです（食べ過ぎには注意してね）
- Q 5) 公園内にはペットと自転車の乗り入れは禁止です



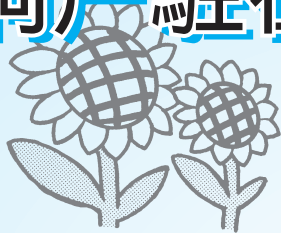
住 所 関市洞戸小坂 351 番地先 ☎0581-58-8210

休 館 日 月曜日・祝日の翌日

予約が必要な施設（有料） 陸上グラウンド・洞戸テニスコート

詳細は <http://horadoundoukouen.jimdo.com> をご覧下さい

洞戸駐在所ファイル



Case1

夏

洞戸地区の皆さんこんにちは。洞戸駐在所の土田です。前回、洞戸は平穏で治安がよいと書かせていただきましたが、今回は洞戸の夏を初めて体験して思ったことを書かせていただきます。

洞戸駐在所に赴任して、6月までは平穏な洞戸地区でしたが、7月の下旬頃から観光客（特に川遊び客）が増加するにつれて事件事故などの多発により様相が一変し、関警察署管内でも多忙な受持区になり、特に阿部地区から飛瀬地区にかけての川遊び客の路上駐車対策や、水難事故防止のため、お盆期間中には関警察署の応援を仰ぎ対応するような状況でした。

そんなお盆期間中の8月13日、午後4時20分頃尾倉地内において悲惨な交通死亡事故が発生しました。この事故は、板取方面から走ってきたワンボックスカーが尾倉の住宅街の直線路にさしかかるところの右カーブを、曲がりきれず石垣に接触し横転、三列シートの最高部左側に乗車していた男性が、上半身が車外に出たため頭部を強打し即死したものでした。事故原因はスピードの出し過ぎとシートベルトを着用していなかったことです。シートベルトさえ着用していたら怪我ぐらいで済んだかもしれません。高速道路でない一般道路においてシートベルト不着用は違反にはなりませんが安全のためには常に着用していただきたいものです。

9月に入り少し秋めいてまいりました。また平穏な洞戸地区に戻ることを待ち望んでいる今日この頃です。

関市議会報告

関市議会議員 武藤隆夫

記録的に暑かった夏も日ごとにしのぎやすい季節となってきました。8月20日にはふれあいセンター建設の神事、起工式もとどこおりなく進めていただいております。

今回は、関市議会の議員定数についてご報告いたします。

平成24年12月より議員定数に関する特別委員会を設置し、議員定数についての検討を行っています。関市では平成17年2月7日の合併に伴う、増員選挙で残任期間となる平成19年4月までの間は、市町村の合併の特例に関する法律を適用し、旧関市23名に武芸川地区を2名、洞戸、板取、武儀、上之保地区を各1名（6名）増員し、合計29名となりました。平成19年4月より旧関市の定数を4名減（23名より19名）として、現在の議員定数（19名プラス4名）の25名となっております。尚、平成22年第1回定例会において、関市議会議員定数条例が可決され、平成23年の統一地方選挙は現状の各選挙区で実施し、その次の選挙（平成27年）からは大選挙区で実施することも決定されております。

議員定数に関する特別委員会では、今日まで4回委員会を開催し検討してきましたが、平成26年3月末までには議員定数を定めることになっております。

編集後記



▶「夏祭り」「敬老会」「ピースベルフェス」「キウイマラソン」と毎月一回のペースでイベントに携わらせてもらう中での「ほらど通信」発行。次回は1月1日号です。お正月はゆっくりしたい。まだ先ですが（苦笑）（のりP）



▶今回は夏休みを利用して、イベントや施設取材させていただきました。紙面の都合上載せられなかった記事もありましたが、今後も取材を続けて行きたいと思います。“こんな事取り上げて欲しい”というご意見もお待ちしてます。（たま）

ふるさとほらど通信 第18号（平成25年10月1日）

ほらどまちづくり委員会 広報部会 関市洞戸市場294-2 関市洞戸生涯学習センター内 TEL 0581) 58-2115